



伊豆市立修善寺南小学校

学校教育目標

平成29年度
グランドデザイン
(学校経営構想)

自ら 共に 学びを深める子

重点目標

元気よく

(体)

- ・積極的に運動に取り組む子

仲よく

(徳)

- ・思いやりをもって行動する子

根気よく

(知)

- ・進んで粘り強く学ぶ子

☆学校と心を磨く清掃活動（黙働清掃）

学びづくり

○学力の向上、学力の定着を図る

- ・学習ルールを浸透、学習習慣を確実に身に付ける。
- ・学びタイムや朝学で基礎学力の定着につなげる。
- ・家庭学習の充実と習慣化を工夫する。
- ・テスト関係等で学力の把握と分析、指導の振り返りを行い、指導と評価の一体化を図る。
- ・聞く姿勢と伝える活動の場、書く活動の場を工夫する。

○学力定着が実感できる授業づくりを進め、学ぶ姿勢の確立と学習意欲の向上を図る

- ・学習指導要領を読み込み、各教科領域の基礎的・基本的事項を押さえた授業づくりを進める。
- ・「授業改善と体験的な学習の実践の両輪」、問題解決的な学習で思考・応用・活用する力を身に付ける。
- ・言語活動を充実し、生徒指導が機能する学習集団をつくる。

○掲示、展示物の充実で落ち着いた学ぶ環境整備を図る

- ・学習センターとなる場、情報教育推進の場を整備活用する。
- ・子どもの学びの姿が見える校内、教室内の掲示物を工夫する。

授業で「聞く・伝える」ができる子：60%以上
 授業が分かると思える子⑧
 家庭学習に時間を決めてしっかり取り組む子：75%以上
 学校・家庭でよく読書をする子：50%以上
 定着度調査で80点以上をとれる子：国語70%以上、算数85%以上
 CRT調査でA判定の子：国語80%以上、算数80%以上

Ⅲ期「たかめようステージ」10月～12月

―― 充実期 ――

- ・目標を持って粘り強く挑戦し、今までの成果を表す
- ・支え合いながらよりよい仲間づくりをする

Ⅳ期「かがやこうステージ」1月～3月

―― まとめとつなぎの期 ――

- ・自分の成長を振り返る
- ・感謝の気持ちを持つ

I期「つくろうステージ」4月・5月

―― 出会いの期 ――

- ・学級や児童会の組織づくり
- ・生活習慣・学習習慣の基礎づくり
- ・「南の子の約束」徹底

Ⅱ期「のぼそうステージ」6月～9月

―― 磨き合いの期 ――

- ・仲間とのかかわりの中で、よりよい自分をめざす

コミュニティ・スクール
推進委員会

南っ子
サポーター

学校経営目標

- (1)子どもの意欲的な学びと粘り強く取り組む姿勢を引き出す授業を展開し、確かな学力の定着を図る。
- (2)子どもの心身の健康に親身になって児童に関わり、豊かな感性と人権感覚の育成、健やかでたくましい体づくりを進める。
- (3)学校・家庭・地域総掛かりで、共に育む安心安全な教育活動を推進する。(コミュニティ・スクールの活用)
- (4)互いに支え合い、磨き合う教職員集団「チーム南小」を確立し、協働して学校運営の工夫改善にあたる。
- (5)適切な予算執行と校務の効率化を工夫し推進する。

生活づくり

○人権感覚を育む教育活動を展開する

- ・時と場に応じた態度や言葉遣いを身に付ける。
- ・インクルーシブ教育を視野に入れた特別支援教育の理解とユニバーサルデザインの視点からのきめ細かい学級や個に合った指導を工夫・充実する。
- ・いじめや不登校0に向けた協働体制による先手の指導、早期対応を進める。
- ・「特別の教科 道徳」に向けて道徳の時間を中心に道徳教育を充実する。
- ・「児童と共に」で心を磨く清掃活動を推進する。

○全教職員による全児童理解をもとに、適切な生徒指導を推進する

- ・QUやいじめアンケート等を活用し、よりよい人間関係作りを目指す。
- ・生活の約束により、生活習慣、規範意識を確立する。

学校・家庭・地域であいさつをする子：70%以上
 黙って時間いっぱい清掃する子：70%以上
 時間を守って生活する子：70%以上

活動づくり

○自己肯定感を高め、自治的な風土作り、リーダー育成を進める

- ・話し合い活動を定期的に位置づけ、自分たちで正しい方向に解決していく力を育む。
- ・達成感・成就感が味わえる学校行事や学級活動等を企画し、子どもの主体性を磨く。
- ・学校行事や学年行事、総合的な学習の時間、縦割り活動などで自己目標や自己課題を持たせ、過程を大切に指導を進める。

○心身を鍛え、健康な体をつくる

- ・自己目標を定め、主体的に体力アップのための工夫をし、体力向上を図る。
- ・外部人材との食育授業や給食指導等で食に関する教育を充実させる。(早寝・早起き・朝ご飯の推進)

学校やクラスは楽しいと感じる子：75%以上
 外で元気に体を動かす子：75%以上

学校関係者評価委員による評価

家庭・地域・児童からのアンケート

《アンケートにみられる保護者や地域の願い》

- ・根気よく、粘り強く取り組む子
- ・学力向上に努力し、しっかりと実力をつける子
- ・時間を決めて自ら家庭学習に取り組む子
- ・学校や学級に楽しく行ける子
- ・道徳心を兼ね備えた思いやりのある子
- ・相談、情報発信がしやすい学校
- ・学校、家庭と地域総掛かりで子どもを育てていく学校

《小学校学習指導要領》

- ・確かな学力・豊かな人間性・健康・体力
- 《静岡県教育振興基本計画》
- 『有徳の人づくりアクションプラン』
- ・家庭や地域等との連携による学校教育
- ・ニーズに応じた学習環境づくり
- 《伊豆市学校教育の重点》
- ・確かな学力の定着を図る授業の推進
- ・豊かな心を育てる教育
- 《修善寺地区保こ小中連携構想》
- ・学ぶ力・関わる力（挨拶・聞く・話す）

《アンケートからわかる子どもの実態》

- 毎日欠かさず家庭学習を行う
- 思いやりの心で他に接する
- 与えられた課題や仕事にはまじめに取り組む
- 協力して物事に向かえる
- 学力の二極化が見られ、思考・応用・活用する力が弱い
- 根気強さ、ねばり強さに欠ける
- 自分を鍛える意識が低い
- 校内でのあいさつはできるが、地域でのあいさつが清々としてできない
- 基本的な生活習慣や規範意識は十分には身につけていない